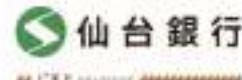
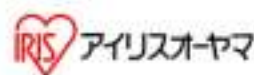


新しい東北

# 復興ビジネスコンテスト 2019



## 協賛団体



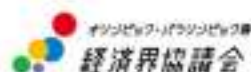
大和証券グループ



野村證券



## 協力団体

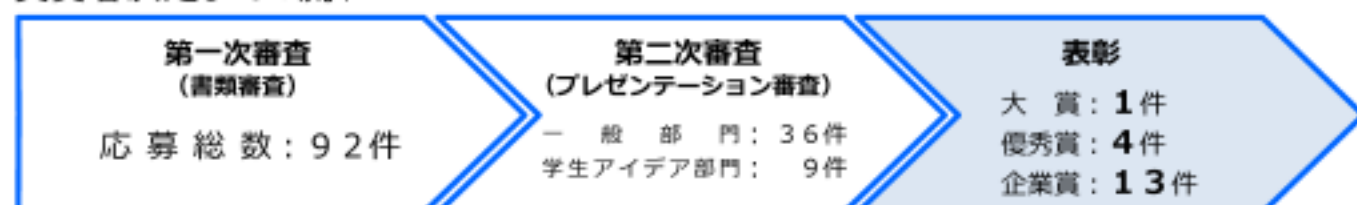


# 「新しい東北」復興ビジネスコンテスト2019

## ○ 概要

被災地の産業復興に向けた地域産業の創出の機運醸成を図ることを目的に、東日本大震災の被災地における地域産業の復興や地域振興に資する事業を既に展開している方、または、これから取り組もうとしている方を対象に募集いたしました。加えて、学生を対象としたビジネスアイデアも募集いたしました。

## ■ 受賞者決定までの流れ



## ○ 審査員

黒澤 賢治	(特定非営利活動法人アグリネット 理事長)
篠崎 宏	(株式会社JTB総合研究所 フェロー)
高橋 和良	(株式会社バンザイ・ファクトリー 代表取締役)
高橋 正行	(株式会社磐城高箸 代表取締役)
土肥 健夫	(株式会社事業開発推進機構 代表取締役)
中島 淳	(株式会社カルチャーアットフォーシーズンズ 代表取締役)
野村 秀之	(株式会社博報堂 人材開発戦略室 シニアマネジメントプランニングディレクター)
堀田 雅湖	(特定非営利活動法人こめみしょうゆアカデミー 事務局長)
政所 利子	(株式会社玄 代表取締役)
山田 さとみ	(株式会社マネジメント・アソシエイツ 代表取締役)

※ このほか、オリンピック・パラリンピック等経済界協議会、国立研究開発法人科学技術振興機構JST復興促進センター、独立行政法人中小企業基盤整備機構、金融機関等が審査に参加しました。

## ○ 受賞者特典

副賞 (賞金)	「新しい東北」官民連携 推進協議会における PR機会の提供	協賛団体等主催の イベント等への招待	パンフレット配布による 各地関連機関等への 事業内容の紹介
大賞 40万円 優秀賞 10万円 優秀賞 (学生部門) 5万円 企業賞 5万円	東北3県を中心に開催する「新しい東北」官民連携推進協議会・交流会において、事業内容をアピールすることができます。	本ビジネスコンテストの協賛団体等が主催するイベント等に招待されます。	受賞者の事業内容を紹介するパンフレットを各地の関連機関等へ幅広く配布します。
専門家による派遣指導等	プロモーション活動支援	事業活動経費支援	その他
専門家等が現地に出向いて、直接その指導を受けることができます。	プレスリリースの作成方法等を専門家から直接学ぶことができます。セミナーに参加できます。	展示会への出展等に伴う経費の一部補助を受けることができます。	協賛企業トップとの対談やWebサイト・SNSでの紹介の機会が得られます (検討中)。

※特典はやむをえず変更となる場合があります。

## ○ 表彰式

令和元年11月22日(金) 14:00-15:00 於 31 Builedge 霞が関プラザホール

# 受賞者紹介

## 大賞

合同会社ねっか（福島県只見町）

「田園風景を次世代に。米農家がつくる世界一和食に合う米焼酎」

一般社団法人歓迎プロデュース（宮城県気仙沼市）

「漁師さん達への思いやりビジネスによる地域振興」

株式会社やまがたさくらんぼファーム（山形県天童市）

「もったいないを6次産業化と観光農業で解決！収益力カイゼン事業」

和田晃司（福島県須賀川市）

「ICTを活用した地域防災アプリケーションシステム「S.A.F.E.」」

西島優輝（宮城県仙台市）

「東北と台湾を野球で繋げる東北遠征旅行プロジェクト」

## アイリス オーヤマ賞

一般社団法人歓迎プロデュース（宮城県気仙沼市）

「漁師さん達への思いやりビジネスによる地域振興」

## KDDI 総合研究所賞

株式会社HealthOne（福島県いわき市）

「いわきFC クリニック: サッカークラブとIT企業が挑む地域医療課題解決への取り組み」

## JTB賞

ふくしま農家の夢ワイン株式会社（福島県二本松市）

「ワイナリーから始まる食・人・農のあるまちづくり事業」

## 仙台銀行じもと 復興創生応援賞

合同会社カイトク（宮城県石巻市）

「仙台駅地下での水産加工品小売事業を軸とした事業展開」

## 大和証券グループ・ フェニックス賞

株式会社フェニックス（岩手県盛岡市）

「誰にでも意のままに操れるワンハンドル操作 除雪機安心安全システム」

## わきたつ東北宮 東北経済連合会

岩手県立大船渡東高等学校（岩手県大船渡市）

「高校生が創る地域資源を活かした高付加価値商品」

## 東洋ワーズ賞

宮城県水産高等学校 フードビジネス類型 ほやほや研究班（宮城県石巻市）

「伊達な ほやおこわ 〜レンジで簡単 宮城のほやをおこわでどうぞ〜」

## キラリものづくり賞 生産技能労務協会

有限会社飯田製作所（福島県本宮市）

「ロボット振興等に資する軽量化に向けた接合技術の開発」

## 野村證券賞

有限会社柏崎青果（青森県おいらせ町）

「世界へ羽ばたく「青森の黒ニンニク®」〜海外20カ国への展開と復興〜」

## JR東日本賞

株式会社一十八日（福島県南会津町）

「クロモジ等の地域資源から和精油を生産・販売し地域活性化を推進」

## 丸紅賞

有限会社大島屋（福島県白河市）

「福島から「幻の蒟蒻芋」復活・コラボレーションプロジェクト」

## みずほ賞

株式会社富久栄商会（福島県郡山市）

「日本の誇る福島県の米、日本酒、山塩を使った自家製ピーントウパーチョコレートの開発」

## LIXIL賞

株式会社光大産業（福島県本宮市）

「木工を科学する。環境配慮型のビジネスモデルの構築。」

大賞



# 大賞

受賞者名

合同会社ねっか（福島県只見町）

事業名

田園風景を次世代に。米農家がつくる世界一和食に合う米焼酎

受賞ポイント

- 福島県が誇る日本酒の醸造技術を活用して香り高い米焼酎を製造販売する事業。
  - 2016年7月に米農家5軒で米醸造会社を設立したところからスタートし、現在では海外への輸出版売も行っている。お酒の全量を自社米のみで作る点が特徴であり、JGAPの認証も取得。
  - 「地域を次の世代につなぐ」ことを理念として掲げ、地元只見町の小学生向けの米作り体験活動に関与し、そのときのお米でできた焼酎を小学生が20歳になったときに渡す等の活動を行っている。
- ☆ 地産地消、地域貢献、将来への継承といった理念に裏付けされたストーリー性が判りやすく高く評価されました。
- ☆ また既に事業化されているプロジェクトですが、和食にあう品質の追求、メディア展開等の戦略的な販売計画等が検討されており、将来的に更に魅力ある事業として成立する可能性も含めて高く評価されました。

URL

<https://nekka.jp/>



優 秀 賞

# アイリスオーヤマ賞

企業賞のダブル受賞！

受賞者名

一般社団法人歓迎プロデュース（宮城県気仙沼市）

事業名

漁師さん達への思いやりビジネスによる地域振興

事業概要と  
受賞ポイント

- 漁業の町、気仙沼において、港町の経済を支える漁師のための銭湯を復活。（3年前に130年の歴史ある銭湯が廃業。）水揚げ後から利用できるよう朝6時から開店し、隣には番台を兼ねた市場前食堂を併設。
  - 銭湯と食堂のほか、漁船や水産加工場で働く外国人のために礼拝所を立ち上げる事業者らと協働で、6店舗からなるトレーラーハウス屋台村「みしおね横丁」を開業。漁師、魚市場で働くひとたち、外国人技能実習生、観光客、市民が集う交流の拠点を目指している。
- ☆「漁業の町」がもたらす必然的な動機付けに裏付けられた、漁業関係者及び地元住民への心のこもった待遇の展開・ストーリー性が高く評価されました。
- ☆ 堅調な事業計画に依拠しつつ、観光客をはじめとした外部マーケットへの展開をも可能とする潜在性も高く評価されました。

協賛企業  
からの  
コメント

- 漁業の町気仙沼で、漁師の為の銭湯を復活させたり地元で働く外国人の為に礼拝所を設ける等行政ではなかなか出来ない「おもてなし」を実現させた。
- コストを抑えるためにトレーラーハウスを改造し、資金調達にはクラウドファンディングを活用している。

URL

<https://kesennuma-tsurukame.com/>





受賞者名

株式会社やまがたさくらんぼファーム（山形県天童市）

事業名

もったいないを6次産業化と観光農業で解決！収益力カイゼン事業

事業概要と  
受賞ポイント

- 6次産業化と観光農業を組合わせた様々な体験プランを企画し、相乗効果による収益を改善する事業。
  - さくらんぼ狩りで収穫されずに廃棄されるさくらんぼを利用して商品化。1次加工で果汁に、2次加工によってその果汁を利用してソフトクリームやパフェ、リキュールなどを手掛けている。
  - 来園者に収穫体験を行ってもらうことで、後継者不在の農地活用を可能としている。
- ☆「もったいない」「残る果物」をきっかけとして事業化された点に明らかな意思が確認できる事と、SDGsや持続性を目指したテーマを追求している点が高く評価されました。
- ☆ 地域企業との連携や地元貢献を実現しているほか、アグリツーリズムなど各種の新しい事業展開を実行されているアクティブな点が高く評価されました。

URL

<https://www.ohsyo.co.jp/>





受賞者名	和田晃司（福島県須賀川市）
事業名	ICTを活用した地域防災アプリケーションシステム「S.A.F.E」
事業概要と受賞ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>● S.A.F.E.(セーフ)は消防団員及び消防署員が活用する、災害時(火災、水害、地震、捜索等)の活動を支援するスマートフォンアプリ。</li> <li>● 火災が通報されると、消防団員・消防署員は「火災発生通知」を即座に受け取り、「火災発生場所」や「消防活動を行う際の水利施設」の確認、「誰が何処に何時に到着できるか」の情報を共有する事ができる。これにより、地域防災の中核を担う消防団の迅速な消火活動をサポートすることが可能となる。</li> </ul> <p>☆ 自らの消防団員活動から創出されたアイデアであり、災害が多発する現代社会における、リアリティの高い事業計画であることが高く評価されました。</p> <p>☆ 防災用のアプリ開発として競合の少ない先進的な事業モデルであることが高く評価されました。</p>
URL	<a href="https://www.j-s-k.info/">https://www.j-s-k.info/</a>



#### 事例1 素早く現場に到着



#### 事例2

水利の早期発見



受賞者名	西島優輝（宮城県仙台市）
事業名	東北と台湾を野球で繋げる東北遠征旅行プロジェクト
事業概要と 受賞ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 東北の観光集客向上を目指して、東北への台湾人観光客が多い点と台湾人が野球好きである点を結び付け、「台湾野球チームの東北遠征+旅行プラン」を発案。</li> <li>● 台湾のアマチュア野球チームを対象として、東北のアマチュア野球チームとの交流試合を含めた旅行プランをオリジナルに作成し、遠征してもらうプログラム。</li> <li>● プランが実現されることにより、台湾における東北の知名度が向上することを展望。</li> </ul> <p>☆ 自らの台湾留学という実体験を背景として、野球というコンテンツからインバウンド需要を発想された着眼点がとても高く評価されました。</p> <p>☆ 事業性検討が様々な観点から具体的に行われており、継続検討のうえで実現可能性の面でも高く評価されました。</p>
URL	—



**企 業 賞**



# KDDI 総合研究所賞

受賞者名	株式会社HealtheeOne（福島県いわき市）
事業名	いわきFC クリニック：サッカークラブとIT 企業が挑む地域医療課題解決への取り組み
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「デジタル(SaaS)」と「アナログ(社会や事業運営の仕組みづくり)」で地域医療課題(若手医師不足・救急医療の不適切利用)解決を図る事業。</li> <li>● 官民の垣根を超えて異業種を巻き込んで設立した特徴ある医療機関(いわき FC クリニック)を核として、福島県外から若手医師を誘致・育成しながら休日夜間の一次救急への対応で、社会課題の克服を実行中。</li> </ul>
協賛企業からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「いわきFCクリニック」の運営は、医師不足をはじめとする地域医療の課題解決を目指す、非常に社会的意義のある取り組みです。医療従事者のみならず異業種の方々を巻き込み、ICTを有効活用した社会の仕組みづくりを実践する点を評価させて頂きました。</li> </ul>
URL	<a href="https://healtheeone.com/">https://healtheeone.com/</a>

Healthee One



## J T B 賞

受賞者名	ふくしま農家の夢ワイン株式会社（福島県二本松市）
事業名	ワイナリーから始まる食・人・農のあるまちづくり事業
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 阿武隈山地の地の利を活かし、ツアー受け入れやイベント開催などを通じて活気のあるまちづくりを目指す事業。</li> <li>● ワイナリー、ブドウ栽培農家、有機野菜栽培農家、農家民宿、道の駅など全てが繋がり、人が流れるまちづくりを展望。</li> </ul>
協賛企業からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>● かつて養蚕を行っていた遊休農地を活用したブドウ栽培や、廃業した宿泊施設を改修したワインカフェなど、地域にあるもの、今あるものを生かした交流拠点づくりに貢献されています。</li> <li>● 台風によって県内にも被害が及ぶ中、2011年から取り組んできた挑戦を継続し、再び福島、二本松、東和が元気になるための牽引役として活躍していくことを期待しております。</li> </ul>
URL	<a href="https://www.fukuyume.co.jp/">https://www.fukuyume.co.jp/</a>



FUKUSHIMA FARMERS' DREAM WINE CO.,LTD.





# 仙台銀行じもと復興創生応援賞

受賞者名	合同会社カイトク（宮城県石巻市）
事業名	仙台駅地下での水産加工品小売事業を軸とした事業展開
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 仙台駅地下に小売店「みやぎ水産の日アンテナショップ」を開設し、水産加工業の活性化を図る事業。</li> <li>● 小売店を軸として、商品開発、卸売事業、EC事業を通じて、目的の達成へ向けた組織の構築、事業の拡大を目指す。</li> </ul>
協賛企業からのコメント	● 地元石巻の事業者とともに地域の発展を目指す御社の事業モデルに対して、大いに共感・感動いたしました。御社の今後の事業展開が、地元の復興・創生にプラスの効果をもたらすものと期待して、表彰いたします。
URL	—



# 大和証券グループ・フェニックス賞

受賞者名	株式会社フェニックス（岩手県盛岡市）
事業名	誰にでも意のままに操れるワンハンドル操作 除雪機安心安全システム
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 操作性の向上と安全安心を支援するため、誰にでも意のままに操れるワンハンドル操作による除雪機システムを考案。</li> <li>● 力のない高齢者でも重労働作業などの仕事が容易かつ安全に出来るようになることを展望。</li> </ul>
協賛企業からのコメント	● 豪雪に伴う日々の除雪・人口減少による人手不足・過疎化による高齢化に悩む被災地域にとって、高齢者や女性でも安全・安心に、しかも簡単に除雪できるシステムは、冬の生活の質向上や雇用創出につながると考えられる。
URL	<a href="http://phoenix-inc.jp/co_profile.html">http://phoenix-inc.jp/co_profile.html</a>



# わきたつ東北賞 東北経済連合会

受賞者名 岩手県立大船渡東高等学校(岩手県大船渡市)

事業名 高校生が創る地域資源を活かした高付加価値商品

事業概要

- 大船渡産の旬の脂がのったサンマを仕入れ、高校生が作った味噌とトマトやショウガを利用した味噌煮缶詰を製造するアイデア。
- 地域資源の活用として鮎と椿をコラボレーションした「鮎の椿燻製」を製造するアイデア。
- 「減塩・低カロリー・高品質商品の開発」、「高付加価値商品の開発」を目指す。

協賛企業  
からの  
コメント

- 大船渡東高校は、専門科目(農芸科学、機械電気、情報処理、食物文化)を学ぶ学生が技術を活かし、「これからの大船渡のために」という共通認識のもと、新たな価値の創出に挑戦している。今後さらに飛躍し、復興の原動力となることを期待し、「わきたつ東北賞」を授与する。

URL

—



## 東洋ワーク

受賞者名 宮城県水産高等学校 フードビジネス類型 ほやほや研究班 (宮城県石巻市)

事業名 伊達な ほやおこわ 〜レンジで簡単 宮城のほやをおこわでどうぞ〜

事業概要

- 宮城県産「ほや」の国内販路・消費の拡大を目指し、手軽に楽しめる「おこわ」を開発するアイデア。
- 地元食品会社の協力を得て、仙台味噌風味の「ほやむすび」を電子レンジ6分の簡単調理で本格おこわに仕上げた。各地での試食会でも好評であり、商品化に向けて更に検討中。

協賛企業  
からの  
コメント

- 石巻の高校生たちが宮城の「ほや」という地元根付いた商品の持続的発展をテーマとしている点に共感しました。「ほや」の商品化に向けて高校生が民間会社と連携して地道に活動している姿も学生らしく、感銘を受けました。

URL

<https://miyagisuisan.myswan.ed.jp/>





# キラリものづくり賞 生産技能労務協会

受賞者名 有限会社飯田製作所（福島県本宮市）

事業名 ロボット振興等に資する軽量化に向けた接合技術の開発

事業概要

- ロボット等産業機器の軽量化に向けて、樹脂と異種材質（金属等）における接合技術の研究開発を実施、産官連携して事業化を目指している。
- 本技術開発による高付加価値製品の創造と、東北の産業全体への波及効果を期待。
- 樹脂を中心とした高度技術を東北地方に集約・育成拠点化することで、地域の魅力を高め、人材が集まり、雇用が創出されることを目指している。

協賛企業  
からの  
コメント

- エネルギー省力化による電池維持率の改善はロボット開発の課題の一つであり、本研究開発により、フッ素樹脂（PTFE）と金属接合が可能となり、基盤フレームの軽量化、制御システムの簡易化が見込まれる。今後、ロボット産業や他分野での期待も高まることから表彰します。

URL <http://iidaf.co.jp/>



## 野村證券賞

受賞者名 有限会社柏崎青森（青森県おいらせ町）

事業名 世界へ羽ばたく「青森の黒ニンニク®」～海外20カ国への展開と復興～

事業概要

- 青森県の主力野菜であるニンニクを黒にんにくへ加工し、国内及び海外向けに販売する事業。
- 同業者10社で青森県黒にんにく協会を組織し、世界黒にんにくサミットを開催。効果として、全米450店超、海外20カ国への輸出に成功。

協賛企業  
からの  
コメント

- 青森県の主力野菜であるニンニクを加工した「黒にんにく」を、国内に限らず海外20か国へ輸出展開し、売上げのみならず一大ブランドへと育てあげた点が、野村の「チャレンジ精神」というDNAと見事にマッチしている。

URL <https://www.aomori96229.jp/>



# J R 東日本賞

受賞者名	株式会社一十八日（福島県南会津町）
事業名	クロモジ等の地域資源から和精油を生産・販売し地域活性化を推進
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 林業と連携してクロモジ等の原料収集、農家でハッカやシソの栽培を行い、国産精油の生産・販売を行う事業。</li> <li>● 里山の埋もれた地域資源から各種国産精油の高品質生産システム（伐採から抽出、パッケージ等）を確立し、その普及を通して地域振興に貢献。</li> </ul>
協賛企業からのコメント	● 「香りで元気に楽しく癒される」をテーマに、里山資源を活用した6次産業で地域活性を目指す取り組みは、「すべての人の『心豊かな生活』の実現を目指す」という弊社の取り組みと親和性が高いと評価しました。
URL	<a href="https://www.18th.co.jp/">https://www.18th.co.jp/</a>



## 丸紅賞

受賞者名	有限会社大島屋（福島県白河市）
事業名	福島から「幻の蒟蒻芋」復活・コラボレーションプロジェクト
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 在来種蒟蒻芋「和玉」で昔ながらの製法で生蒟蒻作ることを通じて、絶滅寸前の在来蒟蒻の存在とその品質の高さを伝える事業。</li> <li>● 白河実業高校農業科と連携し、学生の製造・販売体験を通じた教育実習に貢献し、人材育成の一端を担う取り組みを開始。</li> </ul>
協賛企業からのコメント	● 既にコモディティ化した「こんにやく」を、福島に伝来から伝わる「幻の蒟蒻芋」に着眼することで高付加価値商品として展開されているチャレンジングな姿勢を高く評価しました。また地元高校生との協働は、東北における人材育成にも寄与しているものとして、表彰させて頂きました。
URL	<a href="https://ooshimaya.com/">https://ooshimaya.com/</a>





# みずほ賞

受賞者名

株式会社富久栄商会（福島県郡山市）

事業名

日本の誇る福島県の米、日本酒、山塩を使った自家製ビントウバーチョコレートの開発

事業概要

- 珈琲で培った焙煎技術を応用し、生力カオからビントウバーチョコレートを自社で一貫製造する事業。
- 福島県郡山市のウイスキーメーカーとコラボしたウイスキーボンボンチョコレートにより、地元ウイスキーの存在を大きくPR。福島県の米、日本酒、山塩などの商品とのコラボレーションも展開中。

協賛企業からのコメント

- 福島県産の優れた食材と、仕入れから製造まで一環して自社で行うことにこだわったチョコレートを掛け合わせることで、さらに付加価値の高い商品を作り出している点を高く評価しました。

URL

<http://www.fukuei-coffee.jp/>



# L I X I L 賞

受賞者名

株式会社光太産業（福島県本宮市）

事業名

木工を科学する。環境配慮型のビジネスモデルの構築。

事業概要

- 「木工を科学する」をテーマに、ゼロエミッションに寄与する環境配慮型・循環型のビジネスモデルを構築。
- 製品の製造過程で産出される桧の木くずや蒸気を再利用して「桧バイオマスプラスチック」、「国産ひのき蒸留水スプレー」を展開。

協賛企業からのコメント

- 桧の木くずや、乾燥工程で排出される蒸気などの廃棄物を再利用した事業は、ゼロエミッションに寄与する環境配慮型のものづくりとして非常に社会的意義が大きいものです。また、地域の林業、製材業全体の発展を目指す姿勢も評価しました。

URL

<https://www.kodaimokuty.co.jp/ja/>



ひのきのぷら  
hinokinopla



ひのきの森



# 「新しい東北」復興ビジネスコンテスト これまでの歩み

- 2014年の開始以来、毎年改善を加えながら「新しい東北」復興ビジネスコンテストを開催
- 学生部門の創設など、地域産業の担い手のすそ野を広げる取組も実施
- 受賞者数は、のべ71団体・個人にのぼる(2015年のアイデア部門を含める)



2014	2015	2016	2017	2018
大賞				
<b>㈱磐城高専</b> 間伐材を使用した 高級割り箸等	<b>㈱バンザイファクトリー</b> 三陸未利用資源の甘露煮	<b>㈱JD Sound</b> 被災地での 「7-11」システムの販売	<b>漆とロック株式会社</b> 育てる器で食を 大事にする日本へ	<b>KUMIKI PROJECT㈱</b> 被災地での活動からはじまった 「01インストラクター」育成事業
優秀賞				
<b>桃浦かき生産者合同会社</b> カキ剥きの機械化と商品開発	<b>アートカフェレストラン SEASAW</b> 葛葉田海岸に交流の場を開設	<b>㈱及宮</b> 伝統工芸のコラボ商品開発	<b>企業組合八幡平地熟活用プロジェクト</b> 馬の糞肥で作った野菜の 宅配サービス	<b>広田湾遊漁船組合</b> (広田湾漁業協同組合) 広田湾海中熟成プロジェクト ～体験と特産品による経済活性化～
<b>みらい食の研究所</b> 一次産品を活用した スープ等の開発	<b>(一社) 正に「食」を「食」する</b> 高齢者の 働く場(就労)の運営等	<b>Cafe &amp; Restaurant HAMAYUI</b> カフェ運営を通じた人材育成	<b>合同会社岩手野生動物研究所</b> ニホンジカ用忌避剤の 製造・販売	<b>(一社) 手づくりマルシェ</b> “手づくり”でつなぐ 福島県産品の活性化の まちづくり・仕事づくり事業
<b>島津商店</b> 天然発酵甘酒飲料	<b>㈱仙台買取館</b> 古着物のアロハへのリメイク	<b>福島県立安達東高等学校</b> 果汁を吸わせることによる蜂蜜 の高品質化	<b>㈱つながるファーム</b> 長ネギ大規模栽培で 農業後継者と障がい者を雇用	<b>古河電池株式会社</b> 震災を経て生まれた、あの時、 本島に欲しかった電池 ～MgBOX～
<b>ヤグチ電子工業</b> 安価・高精度・軽量放射線 測定器	<b>東北協同乳業㈱</b> 産学連携で新しい乳酸菌を 使用したヨーグルト		<b>福島県立相馬農業高等学校</b> 地域ブランド油の1次化商品の 開発・販売	<b>福島県立会津農林高等学校</b> 人と種 をつなぐ会津伝統野菜専攻班 会津伝統野菜を未来へつなげる
<b>梅村洋行(株)気仙沼FS アトリエ㈱</b> 毛糸等の販売・編物教室を 通じた交流	<b>末家焼窯元ひろ家</b> 末家焼のブランド確立等の 取組			
<b>企業組合八幡平地熟活用プロジェクト</b> 馬ふん堆肥による マッシュルーム栽培	<b>みやぎのあられ㈱</b> 東北素材を使った米菓の開発			
14	<b>㈱有紀</b> 電力を使用しない 自動ドア開発			

# 「新しい東北」復興ビジネスコンテスト 受賞者の活躍状況





## これまでの受賞者が「CEATEC JAPAN 2018」に出展！

- IoT・ロボット・AIなど国内外で活躍するIT技術の展示会「CEATEC JAPAN2018」が開催され、協力団体である「オリンピック・パラリンピック等経済界協議会」様のご協力によって、これまでの受賞者が参加しました。  
(アンデックス株式会社・株式会社JDSound・株式会社セッションナブル)
- 3社は「東北・九州復興サポート展示ゾーン」にブースを出展し、事業内容や自社製品を紹介いたしました。
- ブース総数700以上、来場者数15万人以上という一大イベントということもあり、各社のブースも多くの方々の目に触れ、知名度向上と新たなビジネスチャンスのきっかけに繋がる出展になりました。

### 「CEATEC JAPAN2018」

昨年の10/16～19まで幕張メッセで開催され、多くの来場者で賑わっていました。



### アンデックス株式会社（宮城県仙台市）

- ・ 2015年 KDDI総合研究所賞  
＜感想＞

このような機会をいただき、大変有り難いお話だった。多くの方にブースに立ち寄りいただき、事業内容をご覧いただいたので、今後のビジネスにつながる期待がある。



### 株式会社JDSound（宮城県仙台市）

- ・ 2016年 大賞  
＜感想＞

県内出身者や被災された方、クラウドファンディングにご支援いただいた方など多くの方にお立ち寄りいただいた。今後の製品開発に関する商談も行うことができ、貴重な出展機会となった。



### 株式会社セッションナブル（宮城県仙台市）

- ・ 2017年 LIXIL賞  
＜感想＞

やはり来場者の多さ、イベント規模の大きさは非常に魅力的であった。多くの方に自社製品に触れていただくことができ、PRすることができた。







# クラウドファンディングで約9,500万円を調達！

～株式会社JDSound（宮城県仙台市）～

- 高品質なポータブルDJシステムを製造・販売する事業です。（2016年大賞）
- 2018年は、動画視聴に最適なポータブルスピーカー「ovo」の開発等の資金調達のため、クラウドファンディングを活用いたしました。その結果、7,500人以上の方から約9,500万円のご支援をいただきました。

映画、スポーツ、ゲーム等の動画視聴に最適なポータブルスピーカー「ovo」を開発しました。  
「ovo」はUSBを繋ぐだけでセットアップができます。USBから供給される電力だけで迫力のある、良質な音を生み出します。



OVOに搭載されているスピーカーユニットやデジタルテクノロジーは、2017年に発売した弊社製品「GODJ Plus」の技術がベースとなっています。



「ovo」の開発等の資金調達のため、クラウドファンディングを活用いたしました。その結果、7,500人以上の方から約9,500万円のご支援をいただきました。

支援金額

¥ 94,885,800

（目標金額の474%を達成）

目標金額

¥ 20,000,000

概 要	
団 体 名	株式会社JDSound（宮城県仙台市）
事 業 名	被災地石巻でMade In Japanのオーディオ製品を作ります
受 賞	大賞（2016年度）
事 業 概 要	高品質なポータブルDJシステム（ターンテーブル、ミキサー、内蔵スピーカー等を全て搭載）を製造・販売する事業。石巻の企業に製造を委託し、地域産業の活性化にも貢献。
U R L	<a href="https://www.jdsound.co.jp/">https://www.jdsound.co.jp/</a>

漆器「めぐる」が「47 REPAIR & CARE  
-47都道府県の修理と手入れ展-」に展示されました  
～漆とロック株式会社（福島県会津若松市）～

- 漆器の繋ぎ手・伝え手として、「山と、人と、食卓を繋ぐ」をテーマに、日本の木と漆の文化と産業を未来に繋ぐサイクルを作る取組です。（2017年大賞）
- 2015年より発売を開始した東北の漆器ブランド「めぐる」は、岩手県の国産漆を使い、会津職人の技術が注ぎ込まれて製作された漆器です。最大の特徴は、人の手にフィットする優しい触り心地。その商品開発・製作には、職人だけではなく、さまざまな団体・クリエイターが参加しました。また、「めぐる」は、その売上の一部が、漆の植栽活動に還元されるという循環型の商品です。
- 昨年の4月～6月まで渋谷ヒカリエ8階で開催された「47REPAIR & CARE-47都道府県の修理と手入れ展-」に展示されました。

「めぐる」は、「漆器繕い」として紹介され、割れてしまった部分を漆によって修繕した「お直し品」として展示されました。



こちらの修繕された「めぐる」は、実際に神戸のカフェで使用されていたものをお借りして、展示されました。



このほか会場内には、「ふとん打ち直し」や「めがね直し」など、修理や手入れに関する様々な展示品が並びました。



概 要

団 体 名	漆とロック株式会社（福島県会津若松市）
事 業 名	「我が子のような“育てる器”で食を大事にする日本へ ～山と、人と、食卓を繋ぎ直す～」
受 賞	大賞（2017年度）
事 業 概 要	漆器の繋ぎ手・伝え手として、「山と、人と、食卓を繋ぐ」をテーマに、日本の木と漆の文化と産業を未来に繋ぐサイクルを作る取り組み。
U R L	<a href="https://www.urushirocks.com/">https://www.urushirocks.com/</a>



# 受賞事業の商品化と、本社新工場の操業開始

～株式会社バンザイ・ファクトリー（岩手県大船渡市）～

- 砂糖と一般的な醤油を利用しない甘露煮を製造、販売する事業です。（2015年大賞）。
- 受賞した甘露煮を高級ギフト「三陸甘茶煮」として商品化すると、「ぐるなび」が主催する「接待の手土産セレクション2017」に入選し、大きな反響を呼びました。
- 岩手産山桜を使用して製造する「福おちよこ」は、底に縁起の良い馬蹄があしらわれており、吉野正芳前復興大臣が米国訪問のお土産にするために購入されました。
- 当社は、本社を岩手県陸前高田市から大船渡市に移転し、2018年5月1日から操業を開始しました。

<p>新工場の外観です。写真左側が事務所棟、右側が質感精密木工部門の工場となっています。</p> 	<p>美味食品部門の工場棟内です。こちらでは、新商品である「わかめ大黒柱」を製造中です。</p> 
<p>工場内の見学ルートです。見学ルートには、当社の商品案内のパネルのほか、小窓をつけて工場内が見やすくしています。地元の小学生らを招いた見学会を開催しています。</p> 	<p>質感精密木工部門工場棟の切削機械が置かれた部屋です。電子ピアノで有名なローランド社製木工切削機が6台ほど並んでいました。別の部屋にある3Dスキャンシステムで読み込んだデータを基に木を削り、「福おちよこ」等を製造しています。</p> 

## 概 要

団 体 名	株式会社バンザイ・ファクトリー（岩手県大船渡市）
事 業 名	三陸の未利用資源を使用した健康配慮型『三陸甘露煮』
受 賞	大賞（2015年度）
事 業 概 要	従来、未利用であった水産資源の活用と一次産業者の収益向上を狙い、「砂糖」と一般的な「醤油」を使わない健康的に配慮した製法で付加価値を高めながら甘露煮を作り、販売する事業
U R L	<a href="https://www.sagar.jp/">https://www.sagar.jp/</a>

福島県とBEAMSのタイアップ企画「ふくしまものまっぷ」に登場  
～株式会社磐城高箸（福島県いわき市）～

- 「ビームス ジャパン」のバイヤーが福島県総合情報誌「ふくしままっぷ」に着想を得て、実際に福島県を訪れて復興の現状への理解や県民との交流を深めた経験から実現したものです。
- 2018年1月にスタートし、福島県の商品をひと月ごとにピックアップして紹介し、福島県の魅力を届けていますが、その第5弾として、株式会社磐城高箸（2014年度大賞受賞）が選ばれました。
- 2018年5月1日から、新宿のビームスジャパン1階にて、BEAMS JAPANとのコラボレーション商品（磐城杉材を有効利用した高級割り箸）の販売、福島県総合情報誌「ふくしままっぷ」の配布、「ふくしまものまっぷ」のパンフレットの配布が行われています。

(株)磐城高箸のコーナーでは、高級割り箸のコラボ商品のほか、割り箸製造工程で生じる「おが粉」を中材として利用したぬいぐるみ「おがべこ」も販売されました。



店舗内エレベーター前に「ふくしままっぷ」、「ふくしまものまっぷ」のパンフレットが置かれていました。



同店1階の福島県コーナーには、大堀相馬焼や白河だるまなど、福島県内の産品が陳列されていました。



概 要

団 体 名	株式会社磐城高箸（福島県いわき市）
事 業 名	林業と地域を再生させる、間伐材を使用した高級割り箸
受 賞	大賞（2014年度）
事 業 概 要	いわき産杉間伐材を活用し、デザイン性のある高級割り箸や派生商品を一貫製造・販売する事業を展開。
U R L	<a href="https://iwaki-takahashi.biz/">https://iwaki-takahashi.biz/</a>



# ゴッホ「ひまわり」とのコラボイベント

～特定非営利活動法人チームふくしま（福島県福島市）～

- 「ひまわり」を福島の復興のシンボルとする「福島ひまわり里親プロジェクト」です。（2017年企業賞「損保ジャパン日本興亜賞」）
- 企業賞を授与した損害保険ジャパン日本興亜株式会社は、アジアで唯一ゴッホの「ひまわり」を所有する企業です。
- 今回の受賞をきっかけとして、「ひまわり」をテーマとしたコラボイベントが、ゴッホ「ひまわり」を所蔵する「東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館」にて平成30年6月2日に開催されました。

ゴッホ「ひまわり」の前で、今回特別に記念撮影を行いました。



コラボイベントに参加した愛知県の高中生や千葉県の高齢者の皆さんが新たな種を植えました。



チームふくしまから送られた種からひまわりを育てた高校が文化祭で作成した「ひまわり」の切り絵が披露されました。



## 概要

団体名	特定非営利活動法人チームふくしま（福島県福島市）
事業名	ひまわりが繋ぐ全国と福島の絆『福島ひまわり里親プロジェクト』
受賞	企業賞「損保ジャパン日本興亜賞」（2017年度）
事業概要	ひまわりを全国各地でいわば「里親」として育て花を咲かせて採種し、その種を福島の地で「復興のシンボル」として咲かせることにより、全国と福島の絆を深めるプロジェクト
URL	<a href="http://www.sunflower-fukushima.com/">http://www.sunflower-fukushima.com/</a>

新店舗への移転  
～株式会社シャークス（宮城県気仙沼市）～

- サメの革を用いたオリジナル商品を企画・販売する事業「サメの街気仙沼を発信」です。（2016年企業賞「仙台銀行じもと復興創生応援賞」）。
- 2011年12月に仮設商店街南町紫市場にて開店し、その後仮設商店街福幸小町田中通りに2016年9月に移転。施設の解体に伴い、二度のプレハブ仮設店舗での営業でした。
- 2018年7月2日に気仙沼市の内湾エリアに新設された商業施設内の新店舗にて、本設として新装オープンしました。ワンフロアを3店舗でシェアして、気仙沼ならではのサメ革製品を充実させ、気仙沼を発信しています。

希少なサメの革は、商品として加工するまでに難しい技術が要求されます。店内ではそれを触った上で購入できます。



サメ革の「小銭入れ」や「名刺入れ」は、色褪せることなく使うほどに柔軟性と艶が増します。



店内は、バック等のサメ革製品、ふかひれ・健康食品のほかに、オリジナルTシャツなどのサメグッズでいっぱいです。



新店舗は「迎（ムカエル）」とよばれる新しい商業施設内にあり、2階からは気仙沼内湾の素晴らしい景色が見えます。



概 要

団 体 名	株式会社シャークス（宮城県気仙沼市）
事 業 名	サメの街気仙沼を発信
受 賞	企業賞「仙台銀行じもと復興創生応援賞」（2016年度）
事 業 概 要	気仙沼が漁獲量日本一を誇るサメの革を用いたオリジナル商品を企画・販売する事業
U R L	<a href="http://sharksjapan.com/">http://sharksjapan.com/</a>



# 「島津麴店」日本橋三越の「夏麴フェア」に出店しました

～島津麴店（宮城県石巻市）～

- 明治42年に石巻で創業し、100年以上の歴史を有する企業です。東日本大震災では、津波に見舞われたものの、店舗と工場を再建し、現在の6代目が島津麴店を引き継いでからは、宮城県内産ササニシキ100%の飲む糀「華糀」の製造・販売を始めるなど、新しい取組を進めています。
- 日本橋三越本店で昨年の6/20～6/26まで開催された「梅雨のエネルギーチャージ～夏麴」に出店しました。華糀・生糀・糀フル（非加熱ジャム）2種・和紅茶・グラノーラ・「Zunda華糀Shake」・ずんだ餅糀関連商品や、テイクアウト可能な華糀ミルクが出品され、普段インターネットでは購入できない催事限定商品も並ぶなど、同社の豊富な商品ラインナップがイベントを盛り上げました。

催事出店の様子



島津麴店の「華糀」



## - 出店のきっかけ -

島津麴店は、本ビジネスコンテストの受賞特典である「専門家による派遣指導」をきっかけとして、日本百貨店協会とのネットワークが生まれ、一昨年の麴フェアに出店。昨年も出店の運びとなりました。



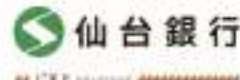
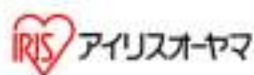
専門家派遣の様子

## 概 要

団 体 名	島津麴店（宮城県石巻市）
事 業 名	・価値ある健康サポート、天然発酵甘糀飲料「華糀」（2014年度） ・華糀アイスクリームセットの新製品開発（2016年度）
受 賞	優秀賞（2014年度）・企業賞「アイリスオーヤマ賞」（2016年度）
事 業 概 要	自社販売している宮城県内産ササニシキ100%の「華糀」を使用したアイスクリームを、日本のトップパティシエ監修のもとに開発・販売する事業。（2016年度）
U R L	<a href="https://www.simazu-kouji.com">https://www.simazu-kouji.com</a>



## 協賛団体



大和証券グループ



野村證券



## 協力団体

